

稲作管理特報

令和8年6月22日
入善産米品質向上対策本部
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育は平年より旺盛で、葉令の展開は早く、茎数がかなり多くなっています。今後は、田面に小さな亀裂が入る程度の中干しによりほ場を固めた後は、「間断かん水」を実施し、根の活力を高めましょう。

【コシヒカリの生育状況（みな穂管内）】（展示ほ7ヶ所）

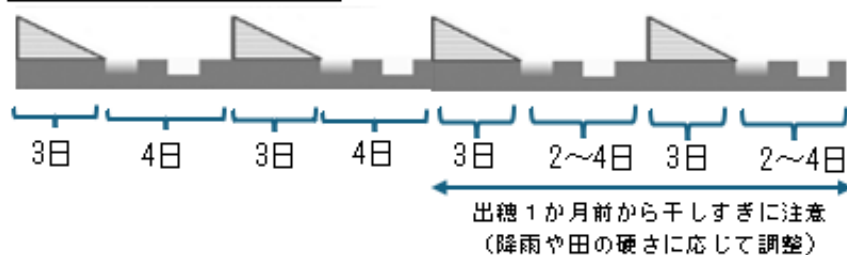
年産	田植日 (月/日)	6月9日					6月16日				
		草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色
			(本/株)	(本/㎡)				(本/株)	(本/㎡)		
R8	5/12	34.8	18.5	398	7.9	4.1	38.4	25.3	542	9.2	4.1
R7	5/12	28.6	15.1	330	7.2	3.9	35.1	22.1	486	8.6	4.3
平年	5/12	30.8	14.1	291	7.3	4.1	36.1	20.3	424	8.7	4.3

1 中干し後の水管理

○中干し後は、幼穂形成期まで「間断かん水」

- ・幼穂形成期は根の生長が進む重要な時期です。幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」で土壌に酸素と水を供給し、根の発達を促しましょう。
- ・幼穂形成期頃までに、足跡の深さが3cm程度の硬さになるまでは場をかためましょう。
- ・出穂1か月前頃から基肥一発肥料の穂肥成分が徐々に溶出します。コシヒカリでは7月に入ったら田を強く干さないように注意しましょう。

間断かん水のイメージ



【間断かん水の方法】

乾きやすいほ場：入水→落水→2～3日落水
乾きにくいほ場：入水→落水→4～5日落水

湛水と落水を繰り返し、根に新鮮な水と空気を交互に供給

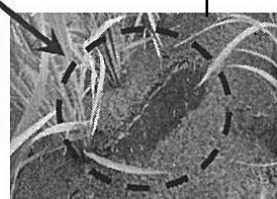
○幼穂形成期～出穂始めまでは「飽水管理」

- ・入水の間隔を短くして常に足跡や溝に水が残るくらいの飽水状態を保ち、根の活力と葉色の急激な低下を防止しましょう。

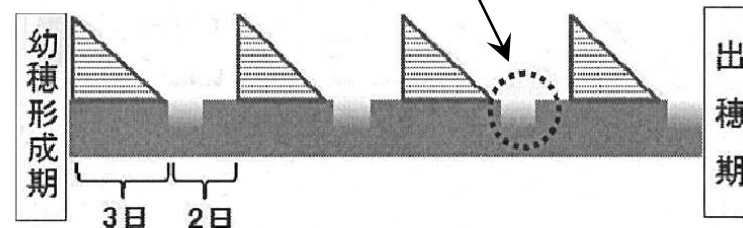
飽水管理のイメージ

飽水管理の方法

3cm程度入水後→落水→
足跡の水がなくなる前に入水
(出穂始め頃まで 繰り返す)



この状態になったら入水



- ・大雨の後は排砂が実施される可能性があります。連携排砂情報を確認し、事前に入水を済ませましょう。



黒部河川事務所 HP



2 ほ場内の異品種ぬきとり

条間にある「漏生稲」、「異茎株」や「稲株の中で茎の一部が薄緑色で徒長しているもの」は異品種混入や病気の原因となります。ほ場をこまめに回り、漏生稲などをしっかり取り除きましょう。（※ほ場への入水やトラクタ作業などで異品種が混入する場合があります）。

3 草刈りの徹底

斑点米カメムシ類の発生は平年より早く、発生頭数も極めて多い状況です。斑点米カメムシ類を増殖させないよう雑草地や畦畔の草刈りを徹底しましょう。

＜斑点米カメムシ類が好むイネ科雑草＞



スズメノカタビラ



スズメノテッポウ



ナギナタガヤ

☆大麦跡田や転作田のほ場管理

- ・大麦跡田などは雑草が繁茂すると、斑点米カメムシ類の発生源となるため、定期的に耕起や、大豆や園芸作物、緑肥等を積極的に栽培しましょう。

4 熱中症対策

これから本格的に気温が上がり、熱中症の発生が増加します。正しい知識を身につけ、農作業中の熱中症を予防しましょう。

- (1) 暑さを避ける 高温時の作業はできるだけ避けましょう。
- (2) 休憩と水分補給 のどの渇きを感じる前に水分・塩分を補給しましょう。
- (3) 単独作業は避ける 複数名で作業し、時間を決めて連絡を取り合しましょう。
- (4) 予防アイテムの活用 空調服やミストファンなどを活用しましょう。



ミストファン

※熱中症が疑われる場合は、すぐに作業を中断し、速やかに病院で手当を受けてください。

☆令和7年から労働者への熱中症対策が義務化

労働者を雇用する事業者は、「早期発見のための体制整備」「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」を行い、その内容を関係作業者に周知するよう義務付けられています。



農林水産省 HP

- ★JAみな穂では営農情報を配信しています。
- ・営農メール：水稻栽培情報、気象・災害情報
- ・LINE：稲作管理特報などの各種特報
- ※右の二次元コードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

営農
メール



LINE



JAみな穂営農センター（中央支店） TEL 74-2440 西部支店経済課 TEL 72-1162
南部支店経済課 TEL 78-1167 新川農林振興センター 農業普及課 TEL 52-0094